

ホテルへの土地貸付議案は「可決」

委員会否決が本会議で1票差で逆転

市が、ホテルルートインに旧市役所跡地を35年間貸し付ける契約を結びたいとする「財産の貸付について」議案は、付託された総務文教常任委員会が8日の常任委員会で「否決」していました。また、11日の本会議で、議案採決の直前に行われた「ホテル建設の推進を求める請願」では、議員一人が退席し、採決の結果9対9となり、議長裁決で「不採択」にされていました。しかし、「財産の貸付議案」の裁決には退席していた議員が戻っており、賛成票を投じたため10対9で「可決」されました。賛成者の理由の中心は、大きな経済効果があり、疲弊している市内経済の立て直しに大いに役立つということです。

井之川博幸議員の反対の理由は、「市が地元住民等にまったく説明もしていないのに、ホテル側が4月30日に地元説明会を行い、8月着工、来年秋開業などと説明したこと。市はあわてて5月20日に議会へ説明、28日に初めての地元説明会を行いました。建設されるホテルが10階建と高層のため、日照が制限されるなどの厳しい状況や夕食提供はしないと契約書に明記されていないこと。小学校や女子高校が隣接している優良な文教地区であり懸念があることなど、市民から出されている意見について市と議会との協議が始まったばかりで、あまりにも拙速であるということ。それ以外にも、33億円の経済効果があると試算し、市内全戸にそのチラシを配布していますが、実際には半分以下であることが判明しているにもかかわらず、メリットだけを強調し、市内同業者への影響などデメリットは一切認めないなどの強行姿勢」を批判しました。「市の企業誘致として全市民の土地である市役所跡地の貸し付けによって権利を侵害される市民が出ることは絶対にあってはなりません。今回の拙速、強引な市のやり方では、問題の解決に至らないと判断しました。」と述べました。

他の反対議員の意見も「市民への説明が不十分」「市の進め方は市民不在」というものでした。



沼田の計画と同程度のホテルルートイン渋川

学校給食無料化請願全会一致「採択」

小中学校の学校給食費の無料化を求めて6月沼田市議会に、新日本婦人の会沼田支部（高橋芳子支部長）から提出されていた「学校給食費の無料化を求める請願書」（紹介議員：井之川博幸・大東宣之）は、付託された総務文教常任委員会で「採択」されていましたが、11日の本会議においても全会一致で採択されました。



井之川博幸議員の一般質問報告1

中央公民館の廃止に伴う代替施設の改善を

井之川博幸議員は、中央公民館の廃止に伴う代替施設の改善及び市民活動へのいっそうの支援を求めました。

市長は、「テラス沼田では、1階多目的スペースの改修や陶芸窯の設置、防災会議室の貸し出しや備品の整備を行っており、保健福祉センターも、環境改善を進めてきました。旧日本基督教団沼田教会記念会堂や旧土岐邸住宅洋館など利用しやすい環境を整えるほか、利根沼田文化会館各種ホールの利用補助制度の創設など活動支援を拡大しています。また、各種市民活動への支援も、引き続き取り組んでまいります。」と答えました。

井之川議員は、市の文書で検討事項になっていることについて、結論が出たことについて市民に伝えるよう求めました。

井之川議員は、市民の文化・芸術活動へのいっそうの支援を求めました。



旧土岐邸住宅洋館(上之町)

2021年6月20日 No.1021

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料